

第一号議案

2024 年度・事業報告

自 2024年4月 1日

至 2025年3月 31日



公益社団法人

日本マーケティング協会

目次

概況.....	- 2 -
I. 本部活動状況	- 3 -
1. マーケティングに関する調査及び研究【定款第4条第2項】	- 3 -
2. マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施【定款第4条第1項】	- 3 -
① 人材育成・教育プログラム.....	- 3 -
② 研究会.....	- 6 -
③ セミナープログラム.....	- 7 -
3. マーケティングに関する情報の収集及び提供【定款第4条第4項】	- 8 -
4. マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力【定款第4条第5項】	- 8 -
5. PR活動や会員サービス事業.....	- 9 -
6. マーケティング検定に関する運営【定款第4条第7項】	- 14 -
II. 2024年度新入会員社.....	- 16 -
III. 関西支部事業報告	- 17 -
1. セミナー【定款第4条第1項】	- 19 -
2. 情報発信【定款第4条第4項】	- 20 -
3. 第16回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 20 -
4. PR活動や会員サービス事業.....	- 21 -
IV. 九州支部事業報告	- 22 -
1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】	- 22 -
2. セミナー・講演会【定款第4条第1項】	- 22 -
3. 情報発信【定款第4条第4項】	- 22 -
4. 第16回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 23 -
V. 北海道支部事業報告	- 24 -
1. 講座【定款第4条第1項】	- 24 -
2. セミナー【定款第4条第1項】	- 24 -
3. 第16回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 25 -

概況

<入退会>

2024 年度の入会社は 24 社であり、コロナ禍の影響が大きく、退会社は 30 社に上った。主な入会社は VIATRIS、エイベックス、関西電力、日清紡、ライオンペットなどであり、主な退会社は東レ、興和、エスビー食品などであった。

<業績>

2024 年度は新型コロナウイルスに関わる雇用調整助成金の交付が完全に打ち切られた。その結果、2024 年度の最終損益は日本マーケティング協会の本来の活動によるものとなり、4 月 7 日現在で 500 万円程度の赤字計上となる見込みである。検定受験のための参考書の売れ行きが順調で約 600 万円の売上増を達成したことや、機関紙「ホライズン」のデジタル化に伴う経費削減約 600 万円が増益の大きな要因である。一方で減益の要因は、東京ベーシックコースの参加者が昨年比で約 40 名減少し、金額にして 550 万円の減少となったことが挙げられる。

<各種教育研修>

各教育研修事業の受講者推移は以下の通りである。

東京ベーシック：242 名 → 222 名

東京マスターコース：30 名 → 30 名

東京エグゼクティブ：15 名 → 9 名

関西ベーシック：57 名 → 59 名

関西マスター：16 名 → 16 名

<セミナー・研究会>

セミナーのコース総数は昨年度比で 7 コース減少し、年度を通じて 62 回開催した。参加者総数は 21%減の 4,025 名、参加料収益は 28%減の約 860 万円にとどまった。一方で、スポンサードセミナーや各種研究会は順調に参加者が増加し、増収となった。

<マーケティング検定>

2024 年度の受験者数は、3 級試験 4,400 名、2 級試験 1,750 名、1 級試験 69 名であり、昨年度から 425 名の増加（前年度比 107%）となった。3 級の受験者数は前年とほぼ横ばいで飽和感が出てきているが、2 級の受験者数は 1,750 名で約 22%増加した。

<マーケティング定義の改定>

日本マーケティング協会が発表した新たなマーケティング定義は、『宣伝会議』や『AdverTimes（アドタイ）』『MarkeZine』などの専門メディアで取り上げられ、業界内外で注目を集めた。翔泳社主催の「MarkeZine Day 2024 Spring」では定義委員が登壇し、刷新の背景や今後求められるマーケターの姿勢について語った。また、X（旧 Twitter）や note でも定義の意義に関する投稿が多数見られ、定義がもたらした新しい方向性について幅広い分野で議論が広がった。

<マーケティング大賞>

応募総数約 100 件の中から、北海道のエスコンフィールドが大賞を受賞した。野球場を街の中心に据えた街づくりが功を奏し、大きく発展している。球場の来場者だけでも 400 万人を突破し、約 90 か所の地方で同様の構想が練られている点が高く評価された。今年度は大賞以外にも、複数社が各々の強みを持ち寄り企画立案した施策の応募が多数寄せられた。

<国際活動>

2024 年 5 月にインドネシアのジョグジャカルタで開催されたアジアマーケティング協会の「アジア・マーケティングアワード」の審査に参加し、11 月にはフィリピンのマニラで開催された第 4 回「ワールド・マーケティングフォーラム」に参加して、各国のマーケティング協会の代表と懇親を深めることができた。また 9 月には中国のビジネススクール「長江商学院」の卒業生からなる研修団が日本企業を訪問し、そのエスコートを行い交流を深めた。

I. 本部活動状況

1. マーケティングに関する調査及び研究【定款第4条第2項】

◆ マーケティング・リサーチの現状に関する調査

- 『マーケティング・リサーチの現状に関するアンケート調査』は、1985年以降実施してきた調査で、これまでマーケティング・リサーチが経営・マーケティング活動を実践する上で意思決定にどう役立っているかなど、幅広く企業の活動実態などを報告している。
- 2024年度は、現在のマーケティング・リサーチの現状についてのディスカッションや外部での調査やデータ分析についてヒアリングなどを行い、マーケティング・リサーチについての現状把握をすすめた。

2. マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施【定款第4条第1項】

① 人材育成・教育プログラム

◆ マーケティング・ベーシックコース

- 指導講師
顧問
委員長
指導講師
恩蔵 直人氏
三浦 俊彦氏
久保 知一氏
坂下 玄哲氏
結城 祥氏
芳賀 康浩氏
須永 努氏
田嶋 規雄氏
松下 光司氏
石田 大典氏
横山 齊理氏
早稲田大学 商学大学院 教授
中央大学 商学部 教授
中央大学 商学部 教授
慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
神戸大学大学院 経営学研究科 准教授
青山学院大学 経営学部 教授
早稲田大学 商学大学院 教授
拓殖大学 商学部 教授
学習院大学 経済学部経営学科 教授
同志社大学 商学部 准教授
法政大学 経営学部 教授
- 実施期間
夏期水曜コース 6月5日(水)～7月25日(木) 8回 69名
木曜コース 6月6日(木)～7月25日(木) 8回 47名
秋期木曜コース 10月10日(木)～11月28日(木) 8回 46名
金曜コース 10月11日(金)～11月28日(木) 8回 39名
- 会場
公益社団法人日本マーケティング協会 9階アカデミーホール
オンラインのハイブリッド開催

◆ マーケティング・マスターコース

- 24年7月には第30期の修了生30名が修了した。
- マスターコースの修了要件のひとつである論文執筆について、第17期マーケティング・マスターコースより、日本のマーケティングの発展に多大な功労を頂いた、鳥井道夫氏の功績を長く顕彰すべく、鳥井道夫賞(サントリーホールディングス(株)協力)を創設し、表彰している。受講者の論文執筆に対するモチベーション向上に寄与している。

最優秀論文 1点

AIにブランドは作れるのか AIと人によるブランド構築の実証実験と比較分析

(株)東急エージェンシー 尾形 明人氏

優秀論文 3点

マーケティングとデザインのシナジー～どうすればデザインをマーケティングに活かせるのか～

(株)アートフリーク 沼田 佳苗氏

火災保険商材における消費者の契約意思決定プロセスのモデル化

三井住友海上火災保険(株) 石原 一志氏

共働き母親の食事作りに関するインサイトとマーケティング戦略の探索—伝統的な規範と現実の狭間で—

雪印メグミルク(株) 池田知栄子氏

【第31期マーケティング・マスターコースについて】

- ・ 現状の現場で必要とされるマーケティング課題をカリキュラム内容に反映し、今期もコースを開講している。会場受講とオンライン受講が混在するハイブリッド形式にて実施中。
- ・ 実施時期 2024年9月4日(水)～2025年7月30日(水)終了予定
- ・ 参加者 32名
- ・ 会場 公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催

マイスター

2024年9月時点(社名50音順)

【マイスター代表】

小泉 篤氏 花王(株) 特命フェロー

【マイスター】

伊賀 聡氏 (株)アキラカ 代表取締役
 松田 貴夫氏 アクサ生命保険(株) 取締役 専務執行役員 兼 チーフ・ロガ&ブランド・オフィサー
 小島 雄一氏 (株)朝日新聞社 メディア事業本部 マーケティング 部部長
 秋元真理子氏 (株)旭リサーチセンター シニア・リサーチャー
 石井 龍夫氏 (株)イーライフ エグゼクティブアドバイザー
 並木 将仁氏 (株)インターブランドジャパン 代表取締役会長兼社長兼 CEO
 長崎 貴裕氏 (株)インテージ 常務取締役
 大泉 裕樹氏 (株)インテグレート エグゼクティブコンサルタント
 福德 俊弘氏 (株)エイチ・アイ・エス 常勤顧問
 戒田 好範氏 (株)ADK マーケティング・ソリューションズ マーケティング・インテリジェンス本部第2プランニング局プランニング・ディレクター
 豊田 実氏 エコートレーディング(株) 代表取締役社長
 山口 修氏 NTTコミュニケーションズ(株) ソリューション&マーケティング 本部デジタルマーケティングソリューション DX 部門部門長
 伊藤 邦宏氏 (株)NTT ドコモ スマートライフカンパニー・ニュー・コンシューママーケティング 部長
 近藤 精一氏 (株)NTTPC コミュニケーションズ 経営企画部長
 向井 英伸氏 (株)オリエントコーポレーション 常務執行役員 デジタルマーケティンググループ 長
 宮地 雅典氏 カゴメ(株) 執行役員 マーケティング 本部広告部長兼野菜をとろうキャンペーン推進担当
 根岸 申明氏 キッコーマン(株) 執行役員 法務・コンプライアンス部長
 多田 誠司氏 サントリー食品インターナショナル(株) プラント開発事業部部長
 和田 龍夫氏 サントリーホールディングス(株) チーフクリエイティブ・オフィサー
 長江 紀和氏 資生堂ジャパン(株) マーケティング・ソリューション部部長
 加治 慶光氏 (株)シナモン AI 取締役会長兼チーフ・サステナビリティ・デベロップメント・オフィサー/(株)日立製作所 Lumada Innovation Hub Senior Principal/鎌倉市スマートシティ推進参与
 平山 智志氏 セントラルスポーツ(株) 新規事業開発部シニアマネージャー
 和田 浩史氏 ソフトバンク(株) コミュニケーション本部アライド統括部統括部長
 鬼木 美和氏 (株)大広 取締役執行役員
 朝岡 崇史氏 (株)ディライトデザイン 代表取締役/法政大学大学院 客員教授
 磯島 拓矢氏 (株)電通 zero EPD
 戒田 信賢氏 (株)電通 マーケティング 局 Strategist
 作田 賢一氏 (株)電通 BX クリエイティブ・センタープランニング・ディレクター
 深田 欧介氏 (株)電通 執行役員
 高橋 基行氏 (株)電通コーポレートワン 法務オフィス法務部長
 大倉 新也氏 (株)東急エージェンシー 執行役員 ビジネスデザイン統括本部副本部長
 森川 東勲氏 TOPPAN(株) ビジネストランスフォーメーションセンターエンゲージメントサービス本部マーケティングアナリティクス部部長
 福島 常浩氏 トランスコスモス(株) グローバル事業統括 DX 推進統括部長 上席執行役員
 中川 香織氏 日産自動車(株) Japan ASEAN デジタルトランスフォーメーション部主管
 榎本 知佐氏 パーソルホールディングス(株)/イオンモール(株)/日本郵便(株) 社外取締役
 加藤 昌治氏 (株)博報堂 UNIVERSITY of CREATIVITY 局長
 黒澤 高次氏 (株)博報堂 α クリエイティブ局局長エグゼクティブクリエイティブディレクター

中村 信氏 (株)博報堂 DXソリューションデザイン局局长エグゼクティブマーケティングディレクター
 原 節子氏 (株)博報堂 コンサルティング開発局局长代理
 関口 昭如氏 パナソニック コネクト(株) デザイン&マーケティング本部デジタルカスタマーエクスペリエンス統括部統括部長
 田中 大貴氏 (株)Paidy コーポレート本部長
 大森 剛介氏 (株)マンダム 執行役員 ブランドマーケティング部部長
 佐藤 実氏 森永製菓(株) 執行役員 マーケティング本部 健康マーケティング部長
 谷口 竜太氏 森永乳業(株) マーケティング統括部 統括副部長
 南 暁氏 ライオン(株) ビジネス開発センター ポジティブ・ハピネスレジマーケティングリサーチ専任ディレクター
 山口 周氏 (株)ライブニッツ 代表

【アカデミック・アドバイザー】

中野 香織氏 駒澤大学 経営学部市場戦略学科教授
 横山 斉理氏 法政大学 経営学部経営学研究科教授
 恩蔵 直人氏 早稲田大学 商学大学院教授
 川上 智子氏 早稲田大学大学院 経営管理研究科教授

- ・ コース構成 5 領域制、計 132 セッション 毎週水曜日開講

【MARKETING MASTER ALUMNI (マスターコース同窓会)について】

- ・ マーケティング・マスターコースは、1994 年の開講以来、32 年にわたり東西で約 1,730 名のマーケティング・プロフェッショナルを育成・輩出してまいりました。
- ・ 近年、マーケティングを取り巻く環境は急激に変化しており、それに対応するため日本マーケティング協会は 2024 年 1 月に、30 年ぶりとなるマーケティングの定義を改訂しました。
- ・ また、第 32 期からのカリキュラム改編に伴い、受講生や修了生が交流し、視野を広げ、学び続ける場を提供することを目的として「マーケティング・マスターコース アルムナイ」を発足いたします。
- ・ 修了生・マーケティング・マイスター・特別ゲストによる講演会、懇親会、企業見学会など、不定期に企画して参ります。

◆ マーケティング・エグゼクティブコース

- ・ マーケティングワークショップでは、ビジネスゲームを実施して、好評であった。
- ・ 若手起業家を講師に招き、イノベーションマインドを学んだ
- ・ リアル開催で、講師と参加者のコミュニケーションが取れて、好評であった

委員長 黒岩健一郎氏 青山学院大学大学院 教授
 講師 内田 和成氏 早稲田大学 名誉教授
 山田 英夫氏 早稲田大学ビジネススクール 教授
 栗木 契氏 神戸大学大学院 経営学研究科教授
 小田部正明氏 早稲田大学・ハワイ大学マノア校 教授
 福澤 知浩氏 (株)SkyDrive 代表取締役 CEO
 青木 慶哉氏 MIKWAYA21(株) 代表取締役社長
 永井 一史氏 HAKUHODO DESIGN 代表取締役
 瀬田 信吾氏 (株)ウィル・シード 代表取締役社長

- ・ 実施期間 2024 年 8 月 4 日(月)～8 月 7 日(木)
- ・ 参加者 9 名
- ・ 会場 日本マーケティング協会 アカデミーホール

◆ 英語でマーケティングを直に学べる！English Conversation&Marketing Crash Course

- ・ ベーシックなマーケティングの内容を通し、マーケティング用語、業界においての適切な言い回し方、英語プレゼンテーションスキル等の英語のコミュニケーション力アップを目的として週一回で開催。

講師 山口 克之氏

- ・ 実施期間 9月4日(水)～12月11日(水) 全15回
- ・ 参加者 6名
- ・ 会場 日本マーケティング協会 第一会議室

② 研究会

◆ 次世代マーケティングプラットフォームの研究

インサイトハブ

- ・ ビジネスリーダーが消費者/ユーザーの本質的な欲求の理解を通じて、社会に新価値を創造するためのネットワーク。
- ・ JMA インサイトハブを構成する活動として、最新のトピックを取り上げ、知識をアップデートするオープンセミナーSCHOOL(JMA インサイトスクール)とディスカッションを通じて問題解決の示唆を得るコミュニティスタイルのLAB(JMA インサイトラボ)とインサイト理解の理論から実践例まで、網羅的に学べるハイブリッド講座(JMA インサイトユニバーシティ)を開催してきた。
- ・ 本年度は、JMA インサイトスクールをハイブリッドで7回開催した。
- ・ コメンター 加藤 巧氏 江崎グリコ(株) 執行役員 上海江崎格力高食品有限公司総経理
小林 康二氏 日本コカ・コーラ(株) マーケティング本部ヒューマン・インサイト・リード
中村 淳一氏 Meta マーケティングサイエンスノースイーストアジア統括
鈴木 健氏 (株)ニューバランスジャパン マーケティング部ディレクター
大松 孝弘氏 (株)デコム 代表取締役社長

JMA インサイトスクール JMA インサイトスクール

開催日	テーマ	参加者
4月22日(月)	20 回味の素の生成 AI による消費者インサイト理解へのチャレンジ	75 名
5月28日(火)	21 回ボスコ(BCG) 流・成長戦略に直結の消費者インサイト開発はアジャイル型へ	81 名
6月21日(金)	22 回味の素マーケ改革から生まれたヒット商品の舞台裏	37 名
8月30日(金)	23 回技術シーズと顧客インサイトをつなぐ新価値創造 DAY1	55 名
10月22日(火)	24 回技術シーズと顧客インサイトをつなぐ新価値創造 DAY2	35 名
2月28日(金)	25 回味の素が考える「進化する広告部」の戦略とは	83 名
3月31日(月)	26 回サントリー流 生活者に寄り添う「ブランド」と「人」を育てる“現場の風土”	30 名
会場：公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催		

ヒューマンキャピタル・マーケティング研究会

開催日	テーマ	参加者
7月22日(月)	プレセミナー「人的資本経営」に求められるマネジメントのパラダイム転換	150 名
会場：オンライン開催		
8月26日(月)	環境適応力を高める“リ・スキリング”再考	21 名
9月9日(月)	インナーマーケティングの可能性	27 名
9月27日(金)	データとテクノロジーを活用した HR 戦略	23 名
10月3日(木)	採用ブランディング 2024	32 名
10月18日(金)	顧客の声はモチベーションに火をつける	29 名
会場：公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催		

分科会セミナー

開催日	テーマ	参加者
7月19日(金)	ヘルスケアマーケティングの最新事例を学ぶ「ヘルスケアビジネス研究会」	17 名

10月15日(火)	すべてのビジネスパーソンが標準装備すべき企業ブランディングの77°ローチ	44名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

③ セミナープログラム

◆ ウェルビーイング

開催日	テーマ	参加者
6月17日(月)	well-being 視点で考える顧客体験(CX)設計と実践 JMA ウェルビーイングセミナー第6回	11名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ デザイン

開催日	テーマ	参加者
2月25日(火)	MarketingPulse2025(香港貿易発展局主催)PR セミナー サントリーの文化とデザイン戦略	286名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 著者来日セミナー

開催日	テーマ	参加者
8月9日(金)	フィリップ・コトラー教授『Reimagining Operational Excellence: Inspirations from Asia』共著者来日セミナー	80名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 広告

開催日	テーマ	参加者
10月1日(火)	けっこうバズってます!公共広告!-あの公共広告はどう作られたか?-クリエイターと交流会	92名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ サステナビリティ

開催日	テーマ	参加者
8月21日(水)	サステナブル・ブランディング講座 Summer School	17名
3月4日(火)	サステナブル・ブランディング講座	11名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 調査分析

開催日	テーマ	参加者
2月21日(金)	GLOBAL CMO PERSPECTIVE-激動の時代に立ち向かう視点-	112名
会場：オンライン開催		

◆ ブランド

開催日	テーマ	参加者
4月5日(金)	『共創マーケティングによってブランドはどんな価値創造ができるか?』戦うブランドから、共創するブランドに、どう変化していくか。	11名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 海外視察レポート

開催日	テーマ	参加者
6月14日(金)	Milano Design Week 2024に見るデザインの最前線 ~ミラノサローネ/フォーリサローネ現地レポート	98名
9月19日(木)	カンヌライオンズ 2024 レポート	275名
会場：オンライン開催		
1月24日(金)	最先端テクノロジーの祭典・CES 2025 速報レポート	220名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 生成 AI

開催日	テーマ	参加者
1 月 28 日 (火)	『ブランドの森 2025』セミナー 自由回答データと生成 AI がブランドの「いま」と「これから」をあぶり出す	98 名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 消費者研究

開催日	テーマ	参加者
3 月 25 日 (火)	先行き不透明な時代の消費を『欲望』の観点から考える dentsu desire design が消費者のいまを探る	20 名

3. マーケティングに関する情報の収集及び提供【定款第 4 条第 4 項】

◆ 出版活動、ウェブサイト運営

「マーケティングホライズン」(季刊・情報誌)

- ・ 編集委員長 ツノダフミコ氏 (株)ウエーブブラネット 代表取締役
- ・ 読者の拡大のため、WEB 版ホライズンを開設。
- ・ 月間で発行していた冊子を季刊に変更。
- ・ 本年度の特集テーマについては次のとおり。

2024 年 5 月 市場創造

7・8 月 自分で切り開く 未来のシゴト

9・10 月 伝え方のイノベーション

11・12 月 下目線 今、ここを生きる

2025 年新春号 それぞれの足もとから、未来を見る。

1・2 月号 時代を映す言葉の行方

ホームページ

<https://horizon.jma-jp.org/>継続して、多くの方々にアクセスをしていただけるよう、定期的にサイトを更新に SEO を高め、さらにアクセス解析を踏まえながらユーザーの利便性向上に努めた。

4. マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力【定款第 4 条第 5 項】

◆ アジア・マーケティング連盟

アジア 17 カ国・地域のマーケティング団体・研究所で構成されるアジア・マーケティング連盟は、定例の総会をタイのバンコクで開催した。

	開催日	開催地
AMF 理事会	5 月 1 日～4 日	インドネシア (ジョグジャカルタ)
AMF 年次総会	11 月 5 日～9 日	フィリピン (マニラ)

◆ ワールド・マーケティング・フォーラム

	開催日	開催地
WMF2024	11 月 5 日～9 日	フィリピン (マニラ)

◆ その他の後援・協賛・協力

後援

開催日	名称	主催団体
3 月 13 日	九経調経営セミナー 60 分でわかる九州経済 (入門編)	(公財)九州経済調査協会
4 月 5 日～7 日	第 7 回 マーケティング Week -春 2024-	RX Japan(株)
7 月 19 日～21 日	第 16 回マーケティング Week -夏 2024-	RX Japan(株)
東京ビッグサイト		

9月25日～27日	第5回 マーケティングWeek -大阪 2024-	RX Japan(株)
インテックス大阪		
4月19日～21日	ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2024	インフォマ マーケッツ ジャパン(株)
東京ビッグサイト 東4ホール		
6月7日	2024 日本パッケージングコンテスト後援名義 使用及び協会賞交付	(公社) 日本包装技術協会
オンライン開催		
10月22日	HMIC カンファレンス 2024	インフォマ マーケッツ ジャパン(株)
日本橋ライフサイエンスハブ		
10月16日～18日	ad:tech tokyo 2024	コムエキスポ ジアム・ジャパン(株)
東京ミッドタウン&ザ・リッツ・カールトン		
12月15日	第35回シンポジウム「企業のリスクマネジメントとコーポレートガバナンス」	神戸大学 現代経営学研究所 ／神戸大学大学院経営学研究科
神戸大学大学院経営学研究科 本館2階206教室		
2月20日～21日	CCAJ コンタクトセンタ・セミナー	(一社) 日本コールセンター協会
大手町ファーストスクエアカンファレンス・オンラインのハイブリッド開催		
2月14日	第64回 2025年 ジャパンパッケージングコン ペティション審査会・後援	(一社) 日本印刷産業連合会
審査会場：日本印刷会館 2階会議室		
審査日 11月6日 展示会 1/27～31	第66回全国カタログ展 本審査会	(一社) 日本印刷産業連合会
日本印刷会館 2F 会議室		
審査日 12月11日 展示会 1/27～31	第76回全国カレンダー展 審査会・後援	(一社) 日本印刷産業連合会 ・(株)産業経済新聞社
審査会場：日本印刷会館		

協賛

開催日	名称	主催団体
9月10日～13日	国際物流総合展 2024	(一社) 日本能率協会・ (公社) 日本ロジスティクスシステム協会
10月23日～25日	TOKYO PACK 2024	(公社) 日本包装技術協会
東京ビッグサイト 西展示棟		
11月27日～29日	第53回日本プロモーション・マーケティング協会展 2024	(一社) 日本プロモーション・マ ーケティング協会
東京都立産業貿易センター		

共催

開催日	名称	主催団体
4月15日～8月5日 10月5日～2月1日	早稲田マーケティングカレッジ次世代のマ ーケティングを学ぶ総合講座	早稲田大学
早稲田大学日本橋キャンパス		

5. PR 活動や会員サービス事業

◆ 第16回日本マーケティング大賞【定款第4条第3項】

- ・ 2007年に創設された日本マーケティング大賞は2024年4月22日、実行委員会・選考委員会合同の最終選考会が開かれ、「大賞」「奨励賞」の選定、および各支部で選ばれた「地域賞」の承認が行われた。6月7日のJMA 定時総会にて報告。10月4日のオンライン報告会で受賞企業に講演いただいた。受賞の盾は、郵送でお送りいたしました。
- ・ 2018年9月より賞のコンセプトを定め、諸規定を整え、募集・選考を行った。委員会組織は以下の通り

【実行委員会】（2024 年 10 月時点）

実行委員長	藤重 貞慶氏	JMA 会長（ライオン㈱ 特別顧問）
実行副委員長	恩藏 直人氏	JMA 理事長（早稲田大学 商学大学院 商学部 教授）
委員	石井 直氏	JMA 副会長（㈱電通 相談役）
	古宮 洋二氏	JMA 副会長（九州旅客鉄道㈱ 代表取締役社長執行役員）
	宮口 宏夫氏	JMA 副会長（北海道新聞社 代表取締役社長）
	辰馬 政夫氏	JMA 副会長（dentsu Japan 執行役員 関西代表）
	高石 一朝氏	JMA 専務理事

【選考委員会】

選考委員長	戸辺 久之氏	㈱朝日新聞社 執行役員メディア事業担当兼メディア事業本部長
選考副委員長	磯貝 智崇氏	アビームコンサルティング㈱ CRM セクター長兼執行役員
委員	古川 一郎氏	一橋大学名誉教授、武蔵野大学 経営学部長
	里村 卓也氏	慶應義塾大学 商学部 教授
	高橋千枝子氏	武庫川女子大学 経営学部 教授
	岡本 達也氏	味の素㈱ 執行役常務 食品事業本部副事業本部長
	鈴木 禎久氏	㈱電通 執行役員【JMA 理事】
	岩崎 拓氏	㈱博報堂 執行役員【JMA 理事】
	山下 竜治氏	㈱朝日新聞社 メディア事業本部アカウントソリューション担当本部長代理
	高島祐一郎氏	㈱講談社 販売局次長兼宣伝部長
	白田 健彦氏	㈱ADK マーケティング・ソリューションズ 事業役員
	長江 紀和氏	資生堂ジャパン㈱ ブランド戦略部長
	鈴木あき子氏	サントリーホールディングス㈱ コミュニケーションデザイン本部副本部長兼宣伝部長
	中澤千代子氏	㈱東横イン 執行役顧客満足推進本部長
	酒匂 淳一氏	㈱読売新聞社 ビジネス局次長

【運営事務局】

運営事務局	竹原 聖人氏	日本マーケティング協会 事務局長
	川井 直人氏	日本マーケティング協会 広報事業局長 エグゼクティブコンサルタント
	平栗 豊氏	日本マーケティング協会 関西支部 事務局長
	和泉 宏氏	日本マーケティング協会 九州支部 事務局長
	小林 聡氏	日本マーケティング協会 北海道支部 事務局長
	高田 綾子氏	日本マーケティング協会 広報事業局
	伊藤 梓沙氏	日本マーケティング協会 業務推進局

日本マーケティング大賞の設立趣旨

『日本マーケティング大賞』は、厳しい経済環境の中でも、企業・自治体・団体等の組織における新しいマーケティングやコミュニケーションの手法、もしくはビジネスモデルの開発を積極的に促すことで、消費者の生活の向上と経済・社会の活性化に資する活動を奨励し、マーケティングのプレステージを高めることを目的として 2007 年に発表、第 1 回は 2009 年より実施された。15 回目となる本年は、日本の市場が成熟化する中で、成長につながる創意工夫が凝らされたプロジェクトが多くエントリー、厳選な審査の中から上記が選出された。

日本マーケティング大賞の応募要件と選考概要

対象活動： 社会に新しく需要を喚起、あるいは市場を再活性化した優れたマーケティング活動
＜対象活動の具体例＞

- ① 新たにマーケティングの概念を取り入れた企業や NPO、自治体等の活動
- ② 生活者・社会との共存・共生/社会的課題の解決に貢献した活動
- ③ 新しい価値の提案やトレンドを生み出した活動
- ④ マーケティングによりブレイクスルーをもたらした活動
- ⑤ グローバル市場で成果のあった活動
- ⑥ オリジナルな新しいビジネスモデルの構築

- ⑦ 社内外、産・官・学とのコラボレーションを取り入れた活動、または生活者との共創
- ⑧ BtoB ビジネスや専門市場におけるマーケティングとして際立った活動
- ⑨ 規模が小さくても、キラリと光る活動
- ⑩ 地域特性を活かしたマーケティング活動
- ⑪ 上記以外でも、今年を象徴するに値する新鮮な戦略提案(「マーケティング提案」)

募集期間： 2023 年 12 月 1 日～2024 年 1 月 31 日

結果発表： 2024 年 6 月 7 日(金) ※JMA 総会にて表彰式・懇親パーティを実施 JMA ホームページで発表、プレスリリース

対象範囲： 日本市場における企業・団体・組織の活動、および日本法人の海外市場での活動(自治体、NPO、大学・病院なども含む)

推薦資格： 日本マーケティング協会会員および日本マーケティング学会会員(自薦・他薦を含む)

エントリー費用： 無料

審査方法： 選考委員により、推薦資料を基に追加情報を含めて討議を実施し、選定

主 催： 公益社団法人 日本マーケティング協会

協 力： 日本マーケティング学会

● 日本マーケティング大賞

総合的に周到なマーケティング計画のもと、市場へのインパクト、独自性、ブランド定着性など、目覚ましい成果を上げたプロジェクトを選考委員会で選定。

北海道ボールパークFビレッジプロジェクト

(株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント

プロ野球球団「北海道日本ハムファイターズ」は、当時既存球場の利用について多くの課題を抱えていたが、自前の球場を保有することで、球団経営を効率化するとともに、スポーツを超えた新ビジネスへの拡張までを見据え、(株)日本ハム・(株)電通と共に新会社を設立。これまでの野球場づくりの常識を超えた、まったく新しい、新球場を核としたまちづくり事業を推進するべく「北海道ボールパークプロジェクト」を立ち上げた。

同プロジェクトは、「世界に誇れるスポーツを起点とした新しい街づくり」をパーパスに設定。構想発表時に Vision Movie や新聞広告を通じて「これは単なる球場づくりではなく、新しい街づくりを世界に先駆けて挑戦するプロジェクトである」と宣言し、目指すゴールを明確にして推進。

加えて、どのような球場をつくっていくのか、どのような街づくりを考えているのか、その「未来設計図」を生活者視点で策定。その内容を Future Vision Book にまとめ、パートナーをはじめとするステークホルダーへ共有することで、「共同創造空間」への参画を促した。

開業前後では、効率的な認知獲得を狙う「リーチマックス」ではなく、プロジェクトに関わるパートナーの熱い思いを伝達。熱量をも可視化し、最大化させる「ヒートマックス」手法を導入した。

こうした活動を通じ 150 社以上のパートナーがプロジェクトに参画することとなり、2023 年 3 月の開業後に年間来場者数は約 340 万人を記録(北海道外から約 30%を動員)。開業後 10 年間の経済効果は 8,400 億円と試算され、大きな経済的な成果を得ることに成功した。日本国内では、今後 100 件以上のスタジアム・アリーナ構想が動き出す予定である。同プロジェクトは、それらを成功に導く上での先駆的マーケティングモデルとなった。

● 日本マーケティング大賞 準グランプリ

グランプリに準じる成果を上げたプロジェクトを選考委員会で選定。

対象無

● 日本マーケティング大賞 奨励賞

独自性や先行性、社会課題解決性、新しいマーケティングの芽など、規模は小さいながらもキラリと光るマーケティング・プロジェクトを選考委員会で選定。

守るのは、頭と地球。HOTAMET 甲子化学工業㈱・猿払村・㈱TBWA HAKUHODO

TBWA HAKUHODO は、ホタテの貝殻を廃棄物ではなく、新たな資源に変えることに挑戦。環境配慮型ヘルメット「HOTAMET/ホタメット」を企画・開発した。

タテの国内有数の産地である北海道猿払村は、年間 4 万トンにも及ぶホタテの貝殻ごみの問題を抱えており、地上保管による環境への影響や堆積場所の確保などが地域の社会課題となっていた。

㈱TBWA HAKUHODO は、甲子化学工業㈱とともに、廃棄ホタテ貝殻と廃棄プラスチックを組み合わせた新素材を開発。「ホタテ漁師の安全を守るヘルメットをホタテの貝殻から作る」着想から開発に着手。デザインには、素材の一部であるホタテ貝の構造を模倣した、特殊なリブ構造を取り入れた。素材開発から、設計に至るまで、環境への負担が少なく、サステナビリティに配慮したプロダクトになっている。

HOTAMET は、ローンチから 2 ヶ月で、目標売上に対して 1,397%を記録。初年度で、約 24 トン以上の廃棄貝殻のリサイクルが見込まれている。また、世界中の企業からオファーが殺到しプロジェクトが進行している。2025 年大阪・関西万博の運営参加特別プログラム Co-Design Challenge (CDC) にも採用された。

冷凍餃子フライパンチャレンジ 味の素冷凍食品㈱・㈱本田事務所

味の素冷凍食品の「ギョーザ」は、発売から 50 年以上の歴史を持ち、発売以降、「永久改良」を重ねて、ロングセラー商品として支持されてきた。

2023 年 5 月、「冷凍餃子がフライパンに張り付いてしまう」と生活者が SNS で投稿。これに対して、同社は SNS 上の炎上リスクとはとらえず、生活者の調理環境の実態把握の機会ととらえ、研究・開発のために、フライパンの提供を SNS で呼び掛けた。発信後 3 日で 1000 個を超えるフライパンが届き、最終的には 3520 個集まった。これを機にプロジェクトを立ち上げ、生活者との共創を目的に 10 月には「冷凍餃子フライパンチャレンジ」プロジェクトサイトを公開し、集まったフライパンのデータを 3D 画像と共に公開した。さらに、検証状況を継続的に発信し続け、フライパン募集から 7 ヶ月後には商品のリニューアルにつなげた。

プロジェクトを通じて可視化された、生活者の声に応え徹底的に検証する同社の取り組みが話題化し、ブランドの誠実な姿勢を伝えた。

2020 年より同社の戦略 PR 活動を支援する本田事務所は、全体統括としてプロジェクトに関与し成功に導いた。

コンビニジム「chocoZAP」 RIZAP㈱

フィットネスジムの概念を覆す月額 2,980 円（税抜）という低価格で、どの店舗でも 24 時間利用できる RIZAP が展開する低価格ジム「chocoZAP（チョコザップ）」。

サービスの本格展開からわずか約 1 年 10 カ月で会員数は 120 万人（退会者は含まず）を超えた。

着替え、履き替え不要で気軽に使える「コンビニジム」というコンセプトを掲げ、ジムの入会や継続のハードルを下げることに成功。セルフネイルやエステ、さらに歯のセルフホワイトニングなど異例のサービスを充実させることで、運動習慣がなかった層を取り込んだ。

広告コミュニケーションでは、チラシ 560 種類、そしてバナー広告に至っては 8,600 種類ものクリエイティブを用意、A/B テストを繰り返しながら効果の最大化を狙っている。

その他、コスト削減のために必要であった「専用アプリ」や「AI カメラ」から得られたユーザーのデータを解析・検証、経営リソース化するなど DX を推進。2024 年 5 月末時点で、店舗数は全国 47 都道府県で 1,500 店舗を超え、米ロサンゼルスにもテスト展開するなど出店の勢いは止まらない。

共創する自動車保険「&e（アンディー）」 イーデザイン損害保険㈱

イーデザイン損保は、2021 年 11 月共創する自動車保険「&e（アンディー）」を販売開始した。

&e（アンディー）は、「自動車保険は事故にあった時に役立つもの」という固定観念を覆す、事故のない世界を目指す自動車保険で、数々の取り組みを重ね、契約者は 35 万件を突破した。

契約者に、事故解決のプロとしての視点を取り入れたアプリサービスと車載センサーを付帯（23年12月時点）。センサーで取得する運転データによる日々の運転の振り返りや、友人・家族とミッションに取り組むチャレンジ機能等、楽しみながらも安全運転につながる機能を満載。

また、契約者全員で年間の事故率目標を達成すると自治体の事故削減活動への寄付に一定金額を上乗せしたり、約170のパートナー企業・団体・自治体等と連携し分析や研究に取り組むなど、あらゆる関係者と共創し、事故のない世界の実現を目指している。

子育て応援プロジェクト 活協同組合コープさっぽろ

コープさっぽろは、「環境や経済、社会が調和のとれた『こころ豊かな社会』を目指し、家庭での親子のふれあいや、次代を担う子どもたちの成長を安心して支える環境づくりを支援すること」を目的に、子育て支援として「子育て応援プロジェクト」の活動に取り組んでいる。この活動は、全道の組合員さんから回収した資源物（段ボール、紙パックなど）を、エコセンター（コープさっぽろのリユース・リサイクル施設）で加工・販売し、その利益（約3億円）を子育て支援資金として活用する循環型支援となっている。資源の回収量が増えるほど利益が増え、それが次世代のために活用される。

具体的には、絵本を無償でプレゼントする「えほんがトドック」、保育園などで絵本の読み聞かせを行う「えほんわくわくキャラバン」、妊婦さんへベビー服やおむつなど約30点を無償でプレゼントする「ファーストチャイルドボックス」などを行っている。

● 日本マーケティング大賞 地域賞

優れたマーケティング・プロジェクトであることに加えて、経営資源が地域にあること、地域活性化に資すること、地域の特徴を活かした事業であることが条件。日本マーケティング協会の関西、九州、北海道支部でそれぞれ選考し、実行委員会・選考委員会が承認する。

関西地区 閉鎖水槽を“ショーウィンドウ”としてメディアに「サンゴショーウィンドウ」
：（株）海遊館

九州地区 福岡市屋台基本条例制定 10周年＆長浜屋台街復活！プロモーション
：LINE ヤフーコミュニケーションズ・九州博報堂

北海道地区 北海道発、おいしいお菓子づくりと環境再生型農業で北海道の未来を創造
：北海道コンフェクトグループ（株）

詳細は各支部報告ページに記載

第16回 日本マーケティング大賞オンライン報告会

開催日	テーマ	参加者
10月4日（金）	第16回日本マーケティング大賞 報告セミナー	117名
会場：オンライン開催		

◆ JMA メンバーズプログラム【定款第4条第6項】

- ・ JMA セミナー コンサル&サポートは、会員企業主催のセミナーを JMA が共催する。講演主催企業の調査研究、事業案内、新規サービス等を紹介する。
- ・ JMA メンバーズセミナーでは、会員社向け無料セミナーを6回開催。ビギナーズ向けの『超入門講座』は回を増すごとに参加者も増加しており、実施回数を増加。入門セミナーの需要の高さが伺えた。
- ・ 企業見学会は未実施。

JMA セミナー コンサル&サポート

開催日	テーマ	参加者
4月18日（木）	経済アナリスト・消費経済アナリストが解説！2024年度の消費と金融のトレンド予測	211名

6月11日(火)	パーセプション創造で新規顧客を狙え！継続的なブランド価値を作る プロモーション手法	209名
2月6日(木)	“伴走型”データ活用人材育成、組織構築手法とは 配荷・SRI・POS など データ分析事例のご紹介	83名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

JMA メンバーズセミナー

開催日	テーマ	参加者
5月16日(木)	『プロ直伝！成功するマーケティングの基本と実践』から読み解くマ	329名
11月18日(月)	ーケティング超入門講座	203名
会場：オンライン開催		

◆ JMA サロン

- ・「JMA サロン」は会員企業のトップマネジメントクラスの方のための伝統あるコミュニティ。1982年以来 44 年にわたり各界の話題性のある方々をスピーカーにご登壇いただいた。少人数ならではのこの場でしか聴くことのできない講和をお楽しみいただくほか、参加者同士の交流の場としても活用されている。
- ・ 委員長 橋本 昇氏 (株)テレビ朝日 取締役セールスプロモーション局長
委員 遠藤 真也氏 (株)朝日新聞社 メディア事業本部ビジネスソリューション部ビジネスマーケティング担当部長
田島 康正氏 キッコーマン食品(株) 常務執行役員プロダクトマネージャー室長
田中 恵氏 (株)集英社 顧問
榎本 知佐氏 パーソルホールディングス(株)/イオンモール(株)/日本郵便(株) 社外取締役
岩崎 拓氏 博報堂(株) 執行役員
- ・ 各回のテーマと講師は下記のとおりである。

開催日	テーマ	参加者
5月31日(金)	第232回ジェンダーギャップ解消へ向けた、女性リーダー育成 法政大学大学院 高田 朝子氏	29名
7月17日(水)	第233回 新時代のプロレスを創る レスラー社長 棚橋弘至の挑戦 新日本プロレスリング(株) 代表取締役社長 棚橋 弘至氏	31名
9月10日(火)	第234回アメリカの選択：2024年大統領選の見どころ (株)朝日新聞社 大阪社会部デスク 金成 隆一氏	25名
11月29日(金)	第235回人を活かすリーダーシップのヒント (公社)日本バスケットボール協会 会長 三屋 裕子氏	25名
1月21日(火)	第236回不老長寿テクノロジーを得た人類の未来 ～超高齢化社会への切り札～ TAZ Inc. 代表取締役社長 (株)ジーンクエスト 取締役ファウンダー高橋 祥子氏	28名
3月18日(火)	第237回世界に誇るプレミアム日本ワイン『ソラリス』の軌跡 マンズワイン(株) 代表取締役社長 島崎 大氏	30名

6. マーケティング検定に関する運営【定款第4条第7項】

◆ マーケティング検定 1級・2級・3級

- ・ 2017年9月内閣府の認定を受け、同年10月より3級を開始。2020年7月1日より2級を開始。2022年9月25日より1級を開始。
- ・ CBT(Computer Based Testing)試験を採用し、全国の誰もがどこでも受験できるシステムを構築。
- ・ マーケティング検定の問題作成委員会は、早稲田大学 恩蔵直人教授などで構成。
- ・ 大手企業を中心に幅広い業界から、新入社員研修や社内研修の一環として採用されている。
- ・ 受験者数： 3級 4,311名
2級 1,746名
1級 69名

◆ **マーケティング検定 公式問題集 & 解説**

マーケティング検定の開始と共に、公式問題集を発刊。amazon、楽天ブックスなどのネット販売、各ストアでの電子書籍に加え、2022 年から日本マーケティング出版として発行し、全国の書店で購入が可能になった。団体受験希望の企業による一括購入にも対応。

◆ **マーケティング検定 E ラーニング講座**

- ・ マーケティング検定 3 級試験の内容に即した E ラーニング講座を 2018 年 10 月に開始。当協会のマーケティング検定専用ホームページから販売。
- ・ 受講数： 363 名

II. 2024 年度新入会員社

4 月	近鉄グループホールディングス(株)	関西
	(株)ペンシル	九州
	(株)Sunlightstudio	本部
	Wovn Technologies(株)	本部
	(株)エル・ティー・エス	本部
5 月	千葉県ヤクルト販売(株)	本部
	日清紡ホールディングス(株)	本部
	三桜工業(株)	本部
	(株)オズマピーアール	本部
6 月	(株)ビーツ	関西
	(株)クレール	関西
	クレコンメディカルアセスメント(株)	本部
7 月	スーパードライブ(株)	本部
	ライオンペット(株)	本部
	阪急阪神マーケティングソリューションズ(株)	関西
10 月	アールエム東セロ(株)	本部
11 月	キャンドルウィック(株)	本部
	ヴィアトリス製薬 (同)	本部
12 月	アポロ(株)	本部
	関西電力(株)	関西
	サラヤ(株)	関西
1 月	(株)Wonderlabo	本部
	エイベックス・アライアンス&パートナーズ(株)	本部
2 月	WED(株)	本部

本部	17 社
関西	6 社
九州	1 社
合計	24 社

III. 関西支部事業報告

概況

関西支部の2大基幹事業である、「マーケティング・ベーシックコース関西」と「マーケティング・マスターコース関西」は前年同様にリアル開催にて活況を呈した。研究会としての「ドラッグストア市場創造研究会」・関西発のマーケティング情報を全国に発信する「マーケティング・ビュー」合わせて事業収入の9割以上を占める。有料オンラインセミナーは、コロナ後に無料オンラインセミナーの数が多くなり集客に苦労した。

1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】

◆ マーケティング・ベーシックコース関西

- リアル開催のみで行い、グループワークでは活発な議論が交わされ、受講者からの意見ではチームの交流について高い評価を受けた。最終発表会は、派遣責任者もお呼びし総勢約100名で実施し、その後の懇親会も大勢に参加いただいた。
- 指導講師 委員長 石井 淳蔵氏 神戸大学 名誉教授
講師 栗木 契氏 神戸大学大学院 経営学研究科教授
小林 哲氏 大阪公立大学大学院 経営学研究科教授
廣田 章光氏 近畿大学 経営学部教授
清水 信年氏 流通科学大学 商学部教授
後藤こず恵氏 流通科学大学 商学部准教授
吉田 満梨氏 神戸大学大学院 経営学研究科准教授
- 実施期間 2024年7月5日(金)～9月6日(金) 9回
- 参加者 59名
- 会場 中之島 NCB ビル スカイルーム

◆ マーケティング・マスターコース関西

- 原則「リアル」で開催した。グループワークも対面で実施することにより、活気ある議論が展開された。修了式では、受講生と論文アドバイザーで約30名の方に、リアルで集まり修了式+懇親会を開催することが出来た
- 実施期間 2024年6月4日(火)(開講式)～2025年3月14日(金)(修了式)
- コース構成 全23科目計126セッション・基本毎週水曜日9:30～17:40にて開催。
- 参加人数 16名(13社)
- 会場 中之島センタービル JMA 関西支部会議室
- 本年度で第24回目となった「鳥井道夫賞」を最優秀論文1本、優秀論文2本に対し贈賞した。
第24期マスターコース関西 鳥井道夫賞受賞者
最優秀論文 1点
「おまもり消費」のマーケティング ～ブランドが「おまもり」として選択されるには～
江崎グリコ(株) 松田 紗季氏
優秀論文 2点
糖質制限最強説の崩壊 ～消費者ニーズの変化を見逃すな～
小林製薬(株) 源治万裕心氏
「体験したことないのに、懐かしい」Z世代向けノスタルジーマーケティングを考える
(株)電通 小原 詩海氏

第24期マスターコース関西 マイスター、及びアカデミックアドバイザー

(2024年6月現在・氏名50音順)

【マイスター代表】

木村 幸生氏 江崎グリコ(株) 執行役員 健康イノベーション事業本部本部長

【マイスター】

秋田真奈美氏 大阪ガス(株) 経営企画本部 DX 企画部ビジネスアナリシスセンター副所長

浅田 拓二氏 (株)マンダム Chief Technical Officer (CTO)

伊藤 和典氏	京セラドキュメントソリューションズ(株) マーケティング本部グローバルマーコム統括部部長
石田 良太氏	(株)阪急阪神百貨店 グリーンエイジ営業統括部ゼネラルマネージャー
乾 正和氏	(株)ADK マーケティング・ソリューションズ デジタルビジネス本部第1デジタルビジネス局局长
井原 應成氏	(株)セールスフォース・ジャパン マーケティングクラウド関西営業部 Senior Sales
今井 直人氏	ダイキン工業(株) マーケティングリサーチ本部調査グループ長担当課長
岩宮 克臣氏	(株)博報堂 関西支社 マーケットデザインビジネス推進局チーフビジネスデザイナー
岩本 雄平氏	象印マホービン(株) 新事業開発室室長
上田 昌弘氏	パナソニック(株) コミュニケーション企画センターセンター長
大藪 範子氏	(株)ワコール 通信販売事業部 オウンドEC 営業部デジタル企画課
奥野久仁子氏	ロート製薬(株) プロダクト&ブランドマーケティング部部長
奥山 保雄氏	小林製薬(株) CDO エコ DX 推進グループグループ長
尾張 英正氏	(株)JR 西日本コミュニケーションズ コミュニケーションプランニング局局长
折井 華子氏	朝日新聞社 メディア事業本部大阪アカウントソリューション部部長
加曽利一樹氏	シオノギヘルスケア(株) 経営戦略部長
亀田 泰明氏	(株)マンダム 取締役
川崎 真吾氏	サントリー(株) 常務執行役員 ビール開発生産本部長ビール商品開発研究部長
川崎 達矢氏	(株)NTT ドコモ データプラットフォーム部データ戦略担当担当部長
河田 邦博氏	西日本旅客鉄道(株) 経営戦略本部コーポレート・コミュニケーション部担当部長
北村 栄治氏	(株)電通 中部ビジネスプロデュース局局长
黒田 滋氏	サントリー(株) 近畿営業本部営業企画部長
小中 繁雄氏	(株)エネアーク関西 販売事業部 広域アライアンス推進室室長
齊藤 裕子氏	TOPPAN(株) 関西デジタルトランスフォーメーション本部 デジタルマーケティング部
佐本 昌久氏	関電サービス(株) 取締役 イノベーション本部副本部長
敷田加寿美氏	フジッコ(株) コア事業本部ヨーグルト・デザイン事業部課長
清水 憲彦氏	スプリングプランニング 代表
下村 真三氏	サントリー(株) 常務執行役員 近畿営業本部長
白川貴久子氏	(株)NTT ドコモ 取締役
杉本 宏治氏	月桂冠(株) 広域流通部部長
杉本 大氏	ヤンマーマルシェ(株) 取締役 経営企画部長
田口 敬子氏	フジッコ(株) コア事業本部ヨーグルト・デザイン事業部部長
田中 国男氏	ケンミン食品(株) 執行役員 マーケティング部 部長
永久 秀明氏	江崎グリコ(株) 執行役員 Glico Asia Pacific Pte.Ltd COO
野上 浩之氏	(株)電通 第6マーケティング局 ブランドコンサルティング部部長
長谷川 想氏	(株)電通 マーケティング統括センター メディアイノベーション研究部部長
菱田 和宏氏	(株)大広 執行役員 マーケティング戦略本部本部長
山領 一之氏	レンゴー(株) パッケージング部門 西部営業本部 副本部長兼営業第一部長
松本 竜氏	読売新聞大阪本社 ビジネス局ビジネス3部グループリーダー
宮本 博文氏	(株)Goldratt Japan プリンシパル
宗利 拓也氏	阪急阪神ホールディングス(株) グループ開発室事業開発部部長
山田 則夫氏	甲南女子大学 参与
山村 昇氏	日本山村硝子(株) 取締役専務執行役員 プラスチックカンパニー社長
吉松 一隆氏	(株)博報堂 関西支社 第2ビジネスデザイン局 局長補佐

【アカデミック・アドバイザー】

石井 淳蔵氏	神戸大学 名誉教授
川上 智子氏	早稲田大学大学院 経営管理研究科教授
栗木 契氏	神戸大学大学院 経営学研究科教授
小林 哲氏	大阪公立大学大学院 経営学研究科教授
清水 信年氏	流通科学大学 商学部教授
廣田 章光氏	近畿大学 経営学部教授
吉田 満梨氏	神戸大学大学院 経営学研究科准教授

◆ 関西 BtoB マーケティング研究会

- ・ ハイブリッド開催とし、3 回コースで実施。参加料金を従来に戻した。コーディネーターの梶山女学園大学南教授と BtoB マーケティング研究会委員の方々との活発な質疑応答で参加者には好評であった。
- ・ コーディネーター 南 知恵子氏 梶山女学園大学 現代マネジメント学部教授/神戸大学名誉教授
- ・ 委員 今井 直人氏 ダイキン工業㈱ マーケティングリサーチ本部 調査グループ 長(課長)
- ・ /順不同 岸本 航氏 ㈱電通 2BX 局 BX デザイン 4 部マーケティングディレクター
- 杉村 誠氏 TOPPAN ホールディングス㈱ 本社 万博・IR 推進室 室長代理
- 高木 淳氏 古野電気㈱ 執行役員 経営企画部長
- 渡辺 伸也氏 京セラ㈱ コーポレート・マーケティング部 エキスパート
- ・ テーマ BtoB マーケティングの最前線
- ・ 実施期間 2024 年 11 月 7 日(木)～12 月 5 日(木) 全 3 回
- ・ 参加者 4 名
- ・ 会場 中之島センタービル JMA 関西支部会議室・オンラインのハイブリッド開催

◆ ドラッグストア市場創造研究会 2024

- ・ 2021 年度、第 1 回目のドラッグストア市場創造研究会を開催させて頂き、参加者から大変好評でしたので、昨年に続き第 4 回目のドラッグストア市場創造研究会を開催した。月 1 回協会東京本部アカデミーホールにてハイブリッド開催、7 月より計 8 回開催。
- ・ 参加企業数 23 社 29 名の参加で、5 名の非会員を含む。
- ・ コーディネーター 守口 剛氏 早稲田大学 商学大学院教授
- ・ ファシリテーター 平野 健二氏 ㈱サンキュードラッグ 代表取締役社長
- ・ 実施期間 2024 年 8 月 6 日(火)～2025 年 3 月 11 日(火) 8 回
- ・ 参加者 29 名
- ・ 会場 日本マーケティング協会 アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催

2. セミナー【定款第 4 条第 1 項】

◆ マーケティング・フォーラム

- ・ 年 1 回実施の「マーケティング・フォーラム」は 6 回目となる
- ・ フォーラム部会長 細井 淳一氏 ㈱大広顧客価値開発本部顧客発掘局細井チームチームリーダー
- ・ 講師 吉田 満梨氏 神戸大学大学院 経営学研究科准教授
- ・ テーマ いま注目の「エフェクチュエーション」で未来を切り拓く～起業家の思考法をあなたの日常業務に～
- ・ 実施期間 2024 年 3 月 19 日(木)
- ・ 参加者 現在募集中
- ・ 会場 オンライン開催

◆ JMA 関西例会【定款第 4 条第 6 項】

- ・ 新しいテーマを中心に、全国向けにオンラインで開催した。
- ・ 月例会部会長 藤野 理之氏 ㈱電通 関西支社 第 6 マーケティング局 局長
- ・ 各回のテーマは下記のとおりである。

開催日	テーマ	参加者
5 月 22 日(水)	第 210 回 Z 世代から拡大する e スポーツ市場のマーケティング活用	26 名
7 月 23 日(火)	第 211 回商品の LTV を高める「習慣化メソッド」	15 名
10 月 11 日(金)	第 212 回生活者との共創を軸にした脱炭素マーケティング	11 名
2 月 26 日(水)	第 213 回採用は経営課題。採用におけるブランディングの必要性	18 名
会場：オンライン開催		

◆ **メンバーズセミナー【定款第4条第6項】**

- ・ 会員社への会員サービスの一貫として「マーケティング超入門講座」を例年春と秋の2回開講。関西完全リアルで開催し、参加者同士が交流できる場を提供した。春・秋ともにご好評いただき、満員での実施となった。

開催日	テーマ	参加者
4月24日(水)	『プロ直伝！成功するマーケティングの基本と実践』から読み解く マーケティング超入門講座 2023	54名
10月18日(金)		50名
会場：中之島センタービル 31F スカイルーム		

◆ **一般セミナー【定款第4条第6項】**

- ・ 毎週1回オンラインセミナー開催の協会目標に対応して、支部として新規に2回開催した。

開催日	テーマ	参加者
11月28日(木)	音声メディア～最新状況と新たなマーケティング活用にむけて～	12名
2月12日(水)	1からの実践ファシリテーション講座	12名
会場：オンライン開催		

3. **情報発信【定款第4条第4項】**

- ・ 季刊紙「マーケティング・ビュー」を例年通り年4回発行できた。全国の会員社・学者へ5,000部を配布。広告集稿においては、前年実績社を中心に満稿を維持することができた。
- ・ 編集部会長 **藤川 博章氏** (株)博報堂 執行役員関西支社長(2024年3月現在)

4月号 トップインタビュー： **森澤 彰彦氏** (株)モリサワ 代表取締役社長
対談： **寺崎 徹氏** JPタワー大阪 大阪営業所次長 他2名

7月号 トップインタビュー： **大西 洋平氏** (株)I-ne 代表取締役社長
対談： **上田 公嗣氏** BABY JOB(株) 代表取締役社長

10月号 トップインタビュー： **田野瀬良太郎氏** 大和大学 学長
対談： **加藤 浩二氏** ミキハウス 執行役員本部長

1月号 トップインタビュー： **間島 寛氏** 岩谷産業(株) 代表取締役社長執行役員
対談： **多田 知子氏** NTT ソルマーレ(株) ブランディングチームグループ長

4. **第16回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】**

- ・ 東京本部で行われる全体選考と並行して地域賞(関西地区)の選考し、1次選考は小委員会で候補11案件から以下3案件に絞り込んだ。
 1. 姫路市が誇る「姫路城」の世界遺産登録から30年～全国のお城・歴史ファンが集う記念事業で地域ブランディング 姫路市
 2. 閉鎖水槽を“ショーウィンドウ”としてメディアに「サンゴショーウィンドウ」 (株)海遊館
 3. 阪神タイガース38年ぶりの日本一とクラウドファンディングによる優勝パレード (株)阪神タイガース
- ・ 最終選考は運営委員会で実施し、候補3案件より選考、地域賞は「(株)海遊館」に決定した。

運営委員会委員、及び地域賞選考小委員会委員 2024年3月現在

最終審査

関西支部長 **鹿毛 輝雅氏** dentsu Japan 執行役員 関西代表
選考委員長 **下村 真三氏** サントリー(株) 常務執行役員近畿営業本部長
選考委員 **石井 淳蔵氏** 神戸大学 名誉教授
安場 孝氏 (株)朝日新聞社 メディア事業本部本部長代理
木村 幸生氏 江崎グリコ(株) 執行役員 健康イノベーション事業本部本部長

神余 直行氏	産経新聞社 大阪本社 メディア営業局長
久田英一郎氏	サントリー(株) 近畿営業本部営業企画部企画担当部長
立田 真氏	(株)市場調査社 代表取締役
菱田 和宏氏	(株)大広 顧客開発本部 副本部長
前田 浩希氏	(株)電通 第6マーケティング局シニアエンゲージメントディレクター
菊原 周平氏	(株)日本経済新聞社大阪本社 メディアビジネス大阪本社広告コミュニケーションユニット長
藤川 博章氏	(株)博報堂 常務執行役員 関西支社長
飛田 拓肖氏	(株)毎日新聞社 大阪本社 営業総本部大阪営業本部長
西村 健氏	(株)マンダム 代表取締役社長執行役員
有田 淳氏	読売新聞 大阪本社 取締役ビジネス局長
角田 康之氏	ロート製薬(株) マーケティング&コミュニケーション部部長
一次審査 関西支部地域賞選考小委員会メンバー	
委員長	香川玄一郎氏 (株)マンダム 執行役員
委員	安場 孝氏 朝日新聞社 メディア事業本部 本部長代理
	久田英一郎氏 サントリー(株) 近畿営業本部営業企画部企画担当部長
	細井 淳一氏 (株)大広 顧客価値開発本部顧客発掘局細井チームチームリーダー
	小林 淳男氏 (株)電通コーポレートワン 事業・経営企画ファシ関西ビジネス推進部シニアディレクター
	井川 勇氏 (株)博報堂 関西支社 マーケットデザインビジネス推進局デジタル・メディアビジネス推進部部長
	角田 康之氏 ロート製薬(株) マーケティング&コミュニケーション部部長

<関西地域賞>

閉鎖水槽を“ショーウィンドウ”としてメディアに「サンゴショーウィンドウ」：(株)海遊館

「海遊館」は、1990年の開館以来、多くの観光客で賑わい、2024年1月には累計8,500万人の来場者を達成。国内最大級の水族館、かつ大阪の代表的な観光スポットである。その海遊館の「グレートバリアリーフ水槽（サンゴ礁の海を再現した館内で5番目に大きな水槽）」がリニューアル工事の為、一時閉鎖して水を抜くことになった。

「海洋保全」という同じベクトルを持つ、サステナブルファッションブランドや、サステナブルな「紙製マネキン」を展開する京都のイベント施工会社と共創。この空（から）の水槽を、彼らの「ショーウィンドウ」として3日間限定で特別な展示空間にリデザイン。来館した人々に、海洋プラゴミ等をリサイクルしたブランドを紹介する「メディア」に、水槽に表示したQRコードから購入できる「買い場」に、そして海洋ゴミ問題や、海洋保全を「考えるきっかけ」となった。工事期間中の有効活用が話題となり、多数のメディアに露出。国内外からの水族館からの反響も多数寄せられた。海遊館らしいブランドアクションとなった。

5. PR活動や会員サービス事業

関西情報交流&懇親会：2025年1月23日（木）関西支部窓口の会員様との交流を深めるために、協会活動報告・記念セミナー・懇親会イベント開催いたしました。場所は話題のグラングリーン大阪にて、約40社80名の会員様にお越し頂き大変好評だった。

IV. 九州支部事業報告

概況

2024 年度の研修は、今まで開催していた「九州エントリーコース」を休止し、デジタルマーケティングに係る実践講座を新たに開講した。また、講師同士、会員同士の懇親を深める場の提供に努めた。

1. 人材育成・教育【定款第 4 条第 1 項】

◆デジタルシフト『超』実践講座 2024

開催日	テーマ	参加者
9 月 2 日(月)	デジタルシフト『超』実践講座 2024 プレセミナー～どうしてデジタルマーケティングはわかりにくいのか	136 名
10 月 3 日(木)	今さら聞けないデジタル広告と最新動向	42 名
10 月 29 日(火)	データ分析領域の最先端	41 名
11 月 15 日(金)	デジタル人材の育成とリスクリング	24 名
11 月 27 日(水)	経営と組織のデジタルシフト	20 名
会場：オンライン開催		

◆ 仮説力・企画力アップ・トレーニング講座

- マーケティングの定石を使い、「逆算マーケティング」の手法で仮説力・企画力を高めるワークショップ。「逆算マーケティング」とはヒット商品を企画者になったつもりで、発売前にさかのぼり、仮説や企画を想像して考えていく手法。九州支部では久々の対面式の講座となった。参加者からは対面で参加者同士が知り合えたことへの満足度が高かった。

開催日	テーマ	参加者
3 月 11 日(火)	仮説力・企画力アップ・トレーニング講座	12 名
会場：電通九州 11 階ホール		

2. セミナー・講演会【定款第 4 条第 1 項】

◆九州例会

- 4 月と 10 月に開催の「運営・業務推進合同委員会」において、対面式でミニ講演会を実施した。

開催日	テーマ	参加者
4 月 17 日(水)	デジタルマーケティングの変遷	27 名
9 月 15 日(日)	ペンシルが提唱する多面的成功ストーリー	26 名
会場：電通九州 11 階ホール		

3. 情報発信【定款第 4 条第 4 項】

九州マーケティング・アイズ

- 例年通り年 4 回、108 号～111 号を発行した。
- 全国の会員社・学者へ 2,800 部配布。
- 編集委員長 副田 治氏 (株)九州博報堂 九州しあわせ共創ラボ 所長
- 編集委員 後藤 雄一氏 西日本新聞社メディアビジネス局メディアプランニング部
篠崎 一拓氏 (株)大広九州 リュウシュン開発局 統合プランニング部部長
林田 和典氏 (株)読売新聞西部本社 広告局ビジネス 1 部長
吉田 考貴氏 (株)電通九州 インテグレート・グロースプランニング 室グロースマーケティング 部
- B5 サイズ 本文 28 ページの体裁にて上記編集委員で編集制作

通巻	発行月	特集
第 108 号	4 月	Green Tea Island Kyusyu 「茶」新しい価値の提供
第 109 号	7 月	2024 年問題 九州での対策

V. 北海道支部事業報告

概況

北海道支部 2024 年度は、まず前年度から開催中であった「月イチデジタル 60 分 2024」の第 3 回と第 4 回のセミナーを 4 月、5 月にオンラインで開催。6 月から 8 月にかけては、企業が実際に課題として直面した事例をケースメソッドによるグループ討議にて戦略を立案する「プロジェクトリーダー養成講座」を 6 回シリーズでリアル開催。北海道支部の重要な使命として、会員社様をはじめ一般社様を含めた北海道の企業様へ、できるだけリアルでのセミナー開催をするべきと考えているが、競合する他社の多数の無料オンラインセミナーなどの影響があり、集客に苦戦する結果となった。ただ、講座内容に関してはアンケートでも高評価をいただくことができた。9 月 6 日には「第 16 回日本マーケティング大賞 北海道地域賞受賞記念講演会」をオンラインで実施。2024 年度は「北海道発、おいしいお菓子づくりと環境再生型農業で北海道の未来を創造」の案件で、北海道地域賞を受賞された「北海道コンフェクトグループ株式会社様」の代表取締役である長沼真太郎様にお話を伺った。10 月から 11 月にかけて「デジタルマーケティング実践講座」全 3 回をワークショップも含めてリアルで開催。2025 年 2 月から 5 月まで全 4 回で「月イチデジタル 60 分 2025・SNS マーケティングの『今』!!」を実施。毎月 1 回 60 分、聞きたいテーマを選んで参加できるというオンラインセミナー。また、2 月には「消費潮流セミナー2025 <ポジティブブーストされる消費者像>」を実施。「欲望トレンド」や現代の消費者を取り巻く「11 の欲望」分析から 2025 年の消費潮流を読み解いていただいた。

そして、2024 年度は北海道支部には大きなトピックスがあった。第 16 回日本マーケティング大賞において、北海道地域賞選考会にて選考された、第 1 位、第 2 位、第 3 位の案件が、最終選考会にて各賞を受賞。

◎第 1 位：「北海道ボールパーク F ビレッジプロジェクト」(株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント) が「グランプリ」、◎第 2 位：「子育て応援プロジェクト」(生活協同組合コープさっぽろ) が「奨励賞」を、◎第 3 位：「北海道発、おいしいお菓子づくりと環境再生型農業で北海道の未来を創造」(北海道コンフェクトグループ(株)) が「北海道地域賞」を受賞した。北海道関係の案件が多数受賞するという嬉しい年度となった。

人材育成・教育【定款第 4 条第 1 項】

◆ アカデミー

プロジェクトリーダー養成講座

- ・ 小樽商科大学ビジネススクールで使用されているケースメソッドによるワークショップでグループ討議にて戦略を立案。
- ・ 講師 近藤 公彦氏 小樽商科大学 ビジネススクール教授
- ・ 実施期間 2024 年 2024 年 6 月 28 日(金)～8 月 9 日(金) 全 6 回
- ・ 参加者 6 名
- ・ 会場 小樽商科大学札幌サテライト 中講義堂

1. 講座【定款第 4 条第 1 項】

◆ デジタルマーケティング実践講座

開催日	テーマ	参加者
10 月 29 日 (火)	指名買いされるマーケティング戦略	9 名
11 月 12 日 (火)	ファーストフォロワーの作り方	
11 月 26 日 (火)	契約を勝ち取る顧客視点の営業術	
会場：道特会館 6 階 中会議室		

2. セミナー【定款第 4 条第 1 項】

◆ 月イチデジタル 60 分 今回は SNS マーケティング

- ・ 講師 高野 修平氏 (株)トライバルメディアハウス 執行役員

開催日	テーマ	参加者
4月11日(木)	TikTok マーケティング戦略セミナー～事例から学ぶクリエイティブ制作と運用のポイント～	22名
5月15日(水)	顧客の購入意向を高めるソーシャル時代のマーケティング～成功事例から学ぶエンタメ×ブランドの可能性～	22名
2月18日(火)	戦略思考～そのターゲット本当に合ってますか？価値伝わってますか？～	19名
3月25日(火)	Instagram アカウント運用戦略セミナー ～想起を勝ち取る“攻め”コンテンツとは？～	18名
会場：オンライン開催		

◆消費潮流セミナー2025

開催日	テーマ	参加者
2月27日(木)	電通消費潮流 2025～ポジティブブーストされる消費者像～	13名
会場：オンライン開催		

3. 第16回日本マーケティング大賞 「地域賞」【定款第4条第3項】

- ・2024年4月3日(水)に北海道地域賞選考会を開催し、北海道地区選考委員の皆さまに投票いただき、候補11案件より上位3件を選考した。
- ・北海道地区選考会 委員 2024年4月現在

運営委員長	矢野 佳久氏	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事専務
業務推進委員長	五十嵐正剛氏	(株)北海道新聞社 常務取締役
選考委員	林 純也氏	(株)電通北海道 執行役員 統合プランニング局長
	勝田 直樹氏	北海道放送(株) 代表取締役社長
	黒田 重雄氏	北海道大学 名誉教授
	上村 卓氏	北海道文化放送(株) 営業局担当局長
	田上 昇氏	サントリー(株) 北海道営業本部企画部長
	長谷川秀一氏	ホクレン農業協同組合連合会 広報総合課課長
	清水 収氏	北海道放送(株) 取締役総合ビジネス局長
	三浦 辰治氏	(株)北海道新聞社 執行役員営業局長
	山岸 浩之氏	(株)北海道博報堂 統合プランニング局/新どさんこ研究所
	久保田 修氏	(株)電通北海道 統合プランニング局コミュニケーション・プランニング部専任部長
	遠藤 弦氏	札幌テレビ放送(株) 取締役ビジネス推進本部長代理
	齋藤美加子氏	(株)道新サービスセンター 広告営業本部部長
	松田 次朗氏	石屋商事(株) マーケティング室マネージャー
	川南 光生氏	(株)セコマ 企画本部販売企画部部長
	寺内 達郎氏	北海道テレビ放送(株) 代表取締役社長
	小手森信一氏	(株)テレビ北海道 常務取締役
	小林 恵莉氏	生活協同組合コープさっぽろ 組織本部広報部部長補佐
	新井 成弘氏	サントリーフーズ(株) 北海道企画部長
	上野江利子氏	(株)モロオ 執行役員経営戦略室長
	佐々木卓也氏	フュージョン(株) 代表取締役社長
	臼井 栄三氏	マーケティングプランナー

<北海道地域賞>

北海道発、おいしいお菓子づくりと環境再生型農業で北海道の未来を創造

：北海道コンフェクトグループ(株)

北海道コンフェクトグループは、2022年10月、(株)きのとや、千秋庵製菓(株)、Kコンフェクト(株)、(株)COC、(株)ユートピアアグリカルチャー、北の食品(株)の各社の事業会社を統合する持株会社として設立された。

第一弾として、創業 102 年を迎えた千秋庵の看板商品であるあんこ入りパイ「ノースマン」のリブランディングに取り組み、生クリームを注入した「生ノースマン」を発売。3 週間で 4 万個を販売し、大ヒット商品となった。また、冬季限定販売のスイーツ「SNOWS」も、冬にしか出会えない希少性や味わいなどからますます好調、話題を集めている。お菓子作りの原材料にもこだわっている。グループのユートピアアグリカルチャーでは、日高管内や札幌市内で、放牧酪農や鶏の平飼い養鶏を実践。北大やソニーグループと共同で環境再生型農業にもチャレンジし、動物にも環境にも負荷をかけずに品質の高い原材料の生産を目指している。

第 16 回日本マーケティング大賞 北海道地域賞受賞記念講演

開催日	テーマ	参加者
9 月 6 日 (金)	北海道発、おいしいお菓子づくりと環境再生型農業で北海道の未来を創造	35 名
会場：オンライン開催		

2024 年度 事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告には、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則」第 28 条第 2 項に規定する附属明細書は「事業活動の状況の概要のうち重要なもの」が存在しないので、作成していない。

2025 年 6 月 12 日

公益社団法人 日本マーケティング協会